**説教20230305ローマ8：31-39マルコ8：31-38「キリストの愛」**

**先週の木曜祈祷会で詩編60編を読みましたが、私はこのダビデの詩を読んで大変驚かされました。ダビデは、この時、周辺の民族に対して決定的な勝利を収めて、遂に史上初めて、この地上にイスラエルの王国を建てることになったのでした。貧しく虐げられていた弱小のイスラエルの神の民たちが、遂に自分の王国を持つことが出来たのですから、人間的に見ればこの勝利は嬉しくないわけがないのです。国の頭であるダビデは率先してこの勝利を喜んで祝祭の宴を開いたことでしょう。**

**しかし、この建国の勝利の時に際して歌われたこの詩編60編には、喜びや嬉しさの感情は少しも現れていません。むしろ反対に、そこには悲しみ、ためらい、おそれの感情が読み取れます。勝利の時に悲しんでいるダビデでありますが、このことは人間的に見れば実に不可解な事であります。しかし、ダビデという人は、イエス・キリストを前もって予示する存在ですので、この詩編60編をイエスキリストの歌として読むならば、私たちは大変腑に落ちることでしょう。イエス様は、十字架というキリストの愛が顕れる場所において、決して、自分を迫害して呪う人々のことを殺そうとはせず、逆に、その人々のことを覚えて「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか知らないのです。」と叫んで、父なる神にとりなして彼らの救いを祈り求めたのでした。**

**このように、人間的な愛は、敵の滅びを喜び、キリストの愛は敵が救われることを喜ぶのです。ですから、私たちはキリストの愛を知り、この人間的な愛をキリストの愛に変えていかなければ、又、私たち自身も救われることがないのです。**

**この様に説きますと、なんとキリストの愛とは難しいんだろうかと思われるかも知れませんが、実はキリストの愛を難しく思わせているのは、私たち人間の驕り高ぶりによることです。キリストの愛は神の前に貧しく弱く、へりくだっている人々のところに知らされるものです。ですから、神様の愛を知るには、イエス様の話をよく聞いて、ただイエス様の前にへりくだって、イエス様にすがりつくだけでよいのです。**

**申命記には、私たち一人ひとりに対して次の様に神の愛が語られています。（申命記7：6～）**

**あなたは、あなたの神、主の聖なる民である。あなたの神、主は地の面にいるすべての民の中からあなたを選び、御自分の宝の民とされた。主が心引かれてあなたたちを選ばれたのは、あなたたちが他のどの民よりも数が多かったからではない。あなたたちは他のどの民よりも貧弱であった。ただ、あなたに対する主の愛のゆえに、あなたたちの先祖に誓われた誓いを守られたゆえに、主は力ある御手をもってあなたたちを導き出し、エジプトの王、ファラオが支配する奴隷の家から救い出されたのである。**

**主なる神は、私たちが何か能力があるとか、他の民族よりも清らかであるとか、そう言った理由で、救われる者を選んだのではなく、神の前に貧しく弱く、ただ救いの約束を信じてついて来る者たちを神の愛によって救われようとしているのです。**

**さて、この神の御言葉は、現代社会の教育とは相反する処があります。現代社会の教育では、なぜか、貧しく弱いことは、いけないこととされています。今日の世の中では、私たちは何か秀でた能力を身に着けて、社会でその能力を生かして人々と社会のために貢献をし、そしてその一種の対価として、暖かい家庭が得られるのだ、といった一つの物語が語られることが普通であります。しかし、このキリストの愛が全く登場しない物語には、今、大きなほころびが顕れているのではないでしょうか。**

**最も優秀な大学を卒業し、最も評価され脚光を浴びる職業に付き、そして模範的な家庭を築いた人がいました。しかし、彼は、あるとき自らの愛を暴走させ、一瞬にして今迄築いてきた物事を失っていまいました。この不幸な出来事は、彼がキリストの愛について全く知らなかったから起こった出来事だと思わされます。しかし絶望することはありません。キリストの愛は全てに勝りますから、これから彼がキリストの愛を知りその道に生きるようになれば、彼は救われるのです。私たちは彼にキリストの愛が伝わるように祈り願って参りましょう。**

**今日のローマ書の箇所で、パウロはキリストの愛について力説しています。**

**だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができましょう。艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。・・・**

**わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。**

**これを今日的に言い換えますと、今日私たちが世の中で学習しています、いわゆる成功した人生、バラ色の人生物語も、キリストの愛からわたしたちを引き離すことは決してできないということになります。**

**今日のこのパウロの力強い言葉は、洗礼志願者の為の学びにも最適です。洗礼志願者の為の学びにはよく「カテキズム」と呼ばれる問答集が使われますが、あるカテキズムの本には次の様に記されています。「問い―私たちが生きるために最も大切なことは何ですか。答え―私たちに命を与えて下さった神様を知ることです。解説―「あなたの人生にとって大切なものは何ですか。」という問いであれば、私たちは、それは愛です、友情です、父母です、自分の命です。などど様々に答えることが出来ます。しかしカテキズムは、それらを２番目３番目に大切なこととし、最も大切なこととは神様を知ることであると断言するのです。」**

**それは神様の愛を知ることと言い換えることも出来るでしょう。**

**このカテキズムで言われていることは、今日の聖書箇所でパウロが言っていることと同じであります。私たちは、この世での人間的な愛の源であり造り主であるキリストの愛を先ず知って、それを何よりも大切にしなければならないのです。**

**さて、この様にパウロが力説するキリストの愛は、全てを一つにし、輝かしいまことの勝利を収める全能なるものとして語られていますが、素朴な疑問として、では、なぜ現代社会で、キリストの愛が完全に勝利していないのだ、という疑問があります。現代社会ではキリストの愛が勝利していないばかりか、かえって人間的な愛があちこちで暴走して、悲しみや憎しみを生じさせてしまっています。これに関してイエス様は「不法がはびこるので、多くの人の愛が冷える」（マタイ24：12）と預言されています。**

**確かに、今、多くの人の愛が冷えています。そして、これは世の中のことばかりではなく、教会の中でも、愛が冷えるということが起こることがあります。**

**言うまでもなく、私たちは洗礼を受ければ、もう何もしなくても自動的に苦しみが去り、救いに入れられたという訳ではありません。**

**私たちは洗礼を受ければ、聖霊によって、キリストの愛によって生きる者へと変えられます。キリストの愛によって生きるとはどういうことでしょうか。それはキリストの信仰・希望・愛に生きるということですが、その実践においては挑戦と失敗、そして悔い改めと赦し、神への感謝と賛美の繰り返しであります。聖霊によって導かれるということは、何か人間の側に確固としたマニュアルがあってその通りにすれば間違いがないという発想ではなくて、とにかく神の計画を信じて、キリストと共にどうなるかわからないけれど一歩を踏み出すということであります。その実践の中で、キリストとの対話が必要になってきます。**

**ペトロという人はキリストの愛の実践を私たちが学ぶ上で、とても良いお手本であります。ペトロは、イエス様が十字架の死と復活を預言された時、「主よ、とんでもないことです。そんなことがあってはなりません。」とイエス様をいさめました。それに対しイエス様は「サタン、引き下がれ。あなたはわたしの邪魔をする者。神のことを思わず、人間のことを思っている。」とペトロをしかられました。**

**この二人の激しい応酬は、将に人間的な愛とキリストの愛との違いを際立たせることになりました。そしてキリストの愛は人間的な愛にはるかに勝っていることが、十字架の死と復活を通して知られることになりました。**

**人間的な愛によれば、これほどの応酬は、仲たがいや絶交を招きがちでありますが、キリストは十字架のイエスを３度、知らないと言って否んだペトロを許し、復活された後は、又、彼らと食事を共にするために、ペトロが戻っていたガリラヤ湖の岸辺にやって来て、魚を取らせて、それを一緒に食べられたのでした。**

**ここまで、キリストの愛と比較して人間的な愛が劣ったものであり、私たちは人間的な愛を捨ててしまった方が良いのではないかという思いを抱かせたとすれば、それは誤解であります。イエス様がすすめられています隣人愛の実践は真に人間的な愛の実践でもあります。但し、その愛の中身を、私たちはイエス様との対話によって出来る限りキリストの愛に近づけていかなくてはなりません。**

**そのキリストの愛を知る方法が、イエス様の御言葉を聞きそれに応答することであり、又、キリストが招いて下さる聖餐と言う食事の席でキリストを頂くことであります。キリストは「苦しみを受ける前に、あなたがたと共にこの過越の食事をしたいと、わたしは切に願っていた」と言って最後の時迄、見捨てることなく私たち信じる者たちを食事に招いて下さます。**

**私たちは心と体で、そのキリストの愛を受け止めて、それを隣人愛において実践をしていきたいと願います。**

**祈り**

**天の父**

**私たちのこの地上での、弱く貧しい歩みの一歩一歩をあなたが守り祝して下さい。私たちが御子キリストの愛を信じて、キリストにすがりつく人生を全うすることが出来ますように。**

**私たちのこの世での体は日々衰えていきます。しかし、それと同時に私たちの内にあるキリストがますます励ましとなり、私たちを隣人愛へと導いて下さいますように。**

**今、病気と闘っておられる方々を、励まし、癒し、慰めて下さい。**

**今、洗礼へと招かれている人たちを、あなたが捕え、その道へと導いて下さい。殊に、洗礼準備の学びをしている岡村さんが、今の生活の一つ一つから、あなたの恵みとまことを知っていくことが出来ますよう導いて下さい。**